

平成22年度 事務事業評価

整理番号
15-14

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	01	15	01
細事業名		網野健康福祉センター管理事業				

担当部局	市民部
担当課等	網野市民局
担当課長の氏名	岸本英志
担当者の氏名	小山 登

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) III 健やか安心都市 計画項目 (施策) ④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進 施策方針 4 地域で支え合う福祉の環境づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 健康、介護医療相談や介護、福祉サービスを提供し福祉の推進を図る。また住民の総合窓口として地域福祉の増進を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野健康福祉センター施設、設備の維持管理を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	3,133	国庫支出金		
	12	245	府支出金		
	13	3,038	起債		
	14	27	分担金・負担金		
	27	9	その他	自動車事故損害賠償	34
			一般財源		6,418
事業費合計		6,452	合計		6,452

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 設置目的に沿った管理ができた。 × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった 理由 施設の適正な管理を行うためには、現状の予算維持が限界と考える。

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 健康、介護医療相談や介護、福祉サービスを提供し福祉の推進を図る拠点として、建物や設備の維持管理に努める。
	事業規模の方向性 B A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由 建物、施設の経年劣化は、避けられず、管理費用の増加が予想されが、常に適正な管理を行う必要がある。23年度には下水道に接続工事を行う予定としている。